



# 幼保小中一貫教育プロジェクト

## 阿久比町小学生海外派遣事業

阿久比町では小学生海外派遣事業として、毎年、小学6年生の児童をシンガポールに派遣しています。第9回目となる今回も、10人の元気な子どもたちが異国の地へと足を運び、生活習慣や文化を学びました。今回は子どもたちの手記から、その様子をお伝えします。(敬称略)

■問い合わせ先 学校教育課学校教育係 電(48)1111(内1230・1231)

### 【東部小学校 和田流暉】

僕は、この海外派遣で初めて海外に行きました。英語が話せないので自分の思いをうまく伝えられるか不安でした。グリーンウッド小学校のペアの子と話すときは、ジェスチャーも使って思いを伝えるようにしました。自分の思いが伝わったと分かったときはとてもうれしかったです。



### 【東部小学校 西本百希】

3日目に国境を越えて、マレーシアに行きました。マレーシアでは、イスラム教の施設である「サルタンアブバカルモスク」に行きました。「サルタンアブバカルモスク」には3,000人も入るそうです。工事中だったため、詳しくは見られませんでした。とても大きくて迫力がありました。

### 【東部小学校 松本詩絵里】

初めてグリーンウッド小学校を見たとき、「とても広い、絶対迷子になる」と思いました。東部小学校より何倍も大きくて、広がったからです。私は両親と離れて海外へ行くのは初めてで、とても緊張しました。引率の先生方をはじめ、一緒に行った仲間のおかげで、楽しく過ごすことができました。ほかの小学校の友達もでき、友情を深めることができました。



### 【英比小学校 芦原碧大】

シンガポールに行き、どれだけ日本が恵まれているか分かりました。日本は、シンガポールと比べて、土地が広く、医療費が安いなど、良いことばかりです。シンガポールは狭い土地に、とてもたくさんのマンションがありました。僕はシンガポールで快適に過ごすことができました。シンガポールは高温多湿と聞いていましたが、今年はそれほどでもなかったからです。